



学会参加の価値

皆さんは、看護に関わる知識や技術をどのように維持・開発していますか？

書籍や雑誌、研究論文を読んだり、研修に参加したり、医師など他職種や看護師の先輩や同僚から学んでいると思います。何より、患者さん、家族との関わりの中で、振り返り学ぶことも多いですね。経験や体験したことも財産ですが、**看護の根拠や工夫を知ることは、看護師としての責務です。**

学会参加では、**研究の発表**だけではなく、**社会の動向や最新の医療や看護**を踏まえたテーマでスペシャリストが**講演**したり、交流集会という名の**事例検討やワーク**など様々です。学会に入会すると、学会誌が届き、研究として、**根拠を用いて取り組んだ看護の結果**や、学会がまとめた**医療や看護の基準、関連する診療報酬や研修**など知ることができます。これらを通じて、**自分の現場で活かすにはどうしたらよいかを考える機会**になります。

慢性疾患看護専門看護師 田中亚由美

2018年度学会日程

学会名	日時	場所
国立総合医学会	2017年 10/10・11	香川
国立病院看護研究会	12/9	東京
日本がん看護学会	2018年 3/3・4	千葉
日本看護倫理学会	5/26・27	東京
日本緩和医療学会	6/5~7	神戸
日本認知症ケア学会	6/16・17	新潟
日本老年看護学会	6/23・24	久留米
日本慢性看護学会	7/14・15	東京
日本難病看護学会	8/24・25	新潟
日本感染看護学会	8/25・26	東京
日本褥瘡学会	9/28・29	横浜
日本難病医療ネットワーク学会	11/16・17	岡山

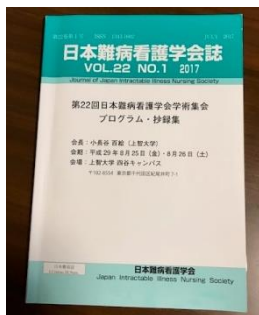
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本筋ジストロフィ看護研究会、日本重症心身障害学会、日本看護科学学会など(日程未定)

第22回日本難病看護学会に参加して

今年は「難病看護師の新たな展開—居心地の良い暮らしのために—」というテーマで、東京で開催されました。

教育講演や、研究の口演・示設発表を通して、カナダの神経筋疾患の呼吸機能を改善する療法や、神経筋疾患の下肢訓練HALなど最新の医療に触れることができました。また、神経難病患者や非がん疾患患者の麻薬使用やNPPV使用における心理の研究、入院前面談にてケアを把握し入院生活への移行を図る取り組みや、ALS患者の苦痛スケールによる統一した評価にて個々の苦痛に対応するケアなど、現場で活かしていきたいと思いました。

難病看護師をご存知ですか？
学会が認定する資格で、難病看護の経験をもち、2日間の研修と試験を受けます。5年毎の更新で、資格を活用して現場での実践や学会参加など継続して、看護の質を維持・向上していきます。興味がある方は、学会のホームページをご覧ください。



関連する学会に参加して
学びを深めてみませんか。